

平成26年度

福工大ビオトープ・自然観察会

ビオトープ研究会

(福岡工業大学社会環境学部)

平成27年3月

報告書作成者

川野	真平	社会環境学部 (3年)	会長
平嶋	陽真	社会環境学部 (2年)	副会長
樋口	敬晃	社会環境学部 (4年)	
畦津	匡貴	社会環境学部 (3年)	
後川	拓実	社会環境学部 (3年)	
遠藤	鼓子	社会環境学部 (3年)	
齊藤	優香	社会環境学部 (3年)	
坂井	野土香	社会環境学部 (3年)	
高木	慎也	社会環境学部 (3年)	
田中	倫恵	社会環境学部 (3年)	
檜崎	直樹	社会環境学部 (3年)	
野口	真未	社会環境学部 (3年)	
江原	將博	社会環境学部 (2年)	
菊池	佳奈	社会環境学部 (2年)	
松木	靖雄	社会環境学部 (2年)	
黒木	厚佑	工学部 (2年)	
津山	太郎	情報工学部 (2年)	
石橋	隆	社会環境学部 (1年)	
今泉	加那恵	社会環境学部 (1年)	
杉本	涼介	社会環境学部 (1年)	
栗原	優太	社会環境学部 (1年)	
坂井	宏光	教授 (社会環境学部)	

目次

2014 年	4 月 29 日 (火)	第 32 回自然観察会 . . . p.4
2014 年	7 月 5 日 (土)	第 33 回自然観察会 . . . p.15
2014 年	10 月 18 日 (土)	第 34 回自然観察会 . . . p.22
2014 年	12 月 13 日 (土)	第 35 回自然観察会 . . . p.30

第32回福工大ピオトープと里山 自然観察会のお知らせ

※福岡工業大学・和白東小学校区ピオトープふれあい実施委員会活動

内容

福工大ピオトープと里山の自然観察会とヨモギのお菓子作りなどを行います。
春のピオトープや里山の若葉などを一緒に楽しみませんか？

対象

地域の皆様(子供から大人までどなたでもご参加いただけます)
学生及び大学関係者の皆様

日程・場所

日程: 4月29日(火・昭和の日)9:30~12:00
※雨天の場合も行います。

場所: 福岡工業大学A棟1階A13教室
(校門から入って一番奥の建物)



参加申し込み

事前のお申し込みは必要ございません。
どなたでもご参加いただけますのでお気軽にお越し下さい。

お願い

当日は山に入りますので、服が汚れる恐れがあります。
汚れてもよい服装と運動靴(または長靴)でお越し下さい。
ハチが出る可能性があります。黒い服は出来るだけ避けましょう。

お問い合わせ

福岡工業大学・社会環境学部
坂井 宏光
Tel.: 092-606-6186
Fax.: 092-606-6497
E-mail.: sakai@fit.ac.jp



2014年4月29日（火曜）

テーマ 春の食べられる野草ってなんだろう？

めあて 春の野草を知り、味を楽しもう。

活動場所 福岡工業大学 A棟1階A13教室 ビオトープ A棟ホール

時間 9:30～12:00

大学担当者 坂井宏光先生 ビオトープ研究会の学生

参加者 66名

自然案内 田村氏 永松氏 生田氏（(有)クラバード）

【活動案内】

集合時間：8：30

9:30-9:50 あいさつ

9:50-10:00 トイレ休憩＋移動

10:00-10:30 収集、観察（AとBで交互15分）

10:30-10:35 移動

10:35-11:50 調理、食事、まとめ

11:50～ レポート

観察終了後 研究室で反省会。



第 32 回自然観察会

2014 年 4 月 29 日(火)

【一般参加者】

A

ヨモギは草もちが好きでよく食べますが、たんぽぽが食べられるとは知りませんでした。ヨモギを採りながら、カヤの葉で手を切りながらも野原で遊んでいた子どもの頃を思い出しました。学生さんとも少し話ができ楽しかったです。ホットケーキ、団子、おいしかったです。ありがとうございました。

B

初めてビオトープを訪ねることができ、研究会の活動も見られてよかった。野鳥の会の方のお話を先に聞くことができたのも勉強になった。とくに「パンや牛乳を生きものと関係ないと思うようになった」ということばが印象的だった。ビオトープでは研究会のメンバーや野鳥の会の方に気軽に質問でき、しかも帰ってきたら料理の準備もできていて、いたれりつくせりだった。このようなすばらしい企画に参加させていただきありがとうございました。

C

ヨモギを探す作業の中で色々な植物や虫を見ることができて面白かったです。泡吹き虫という虫について詳しい方に教えてもらったり、葛の植わっている場所を案内してくれて勉強になりました。グループを作って活動したおかげで初めて知り合う人とも話ができ良かったです。料理にもっと他の野草も使ってみたかったなと思いました。

D

- 1) 福工大の校内に自然観察できるスペースがあるのは意外でした。
- 2) 自然観察ヨモギ採取後に教室でその他の食べられる野草の説明があったがこれは順序を逆にして教室での説明後現地で具体的に確認する方が分かりやすい。
- 3) 調理法

ホットケーキの作り方。よもぎだんごの作り方等は、専門に調理及び準備する人を決め班ごとに見学し、調理の注意点を聞くようにした方が調理が上手くいっておいしくたべられるのでは？

E

野菜を採取することだけではなく豊かな感受性が育まれると考えています。そして自然の営みを通して生き物の命の尊さを尊敬することや自然からもらった食べ物が感謝の気持ち

をこめて食べることも大切なことだと思っています。

【学生】

F

今回の自然観察会は、ヨモギを採取して実際に調理しました。嗅いでみると、いい香りがし、ホットケーキやぜんざいに入れて、主食したら、シャリシャリとした歯応えを感じました。どちらもおいしかったので満足しました。

G

普段自分で野草をとって調理したり、食べたりすることがなかったので、今日の自然観察会で、野草をつんで調理するという経験ができて良かった。ヨモギを探っていると、形が違ったり、似た野草があったりと色々気づくことがあり楽しかった。ヨモギの料理を食べてみて、最初すごくヨモギの味がすると思っていたので、あまりヨモギの味がしなかったことにビックリした。今度家の近くなどでヨモギを見つけたらとって調理したいと思う。

H

今回話を聞いてクズの葉が中国の緑化のために植えられていると知ってびっくりした。クズの葉はとても生命力が強いらしく、すごすぎてアメリカで問題になったことがあると聞いて植物の力はすごいと思いました。ビオトープでヨモギを採り、しら玉とホットケーキにまぜて食べました。正直に言うと、ヨモギの味はあまりしませんでした。またこれから植物を見るときは雑草があるとは思わず、野草があると思って見ようと思います

I

今回は、ビオトープからヨモギを採取して白玉とホットケーキに混ぜ込んで食べました。野に生えている植物を自分で取ってそれを調理して食べるということを今までしたことがなかったのでとても良い経験をすることができました。ヨモギがどんな形の草なのかも知ることができました。これからは地面に生えている草にも目を向けていきたいと思います。

J

本日、坂井ゼミの縁で今回の自然観察会に初めて参加しましたが、とても興味深いことがたくさんありました。まず、存在は知っていたものの見たことはなかったビオトープに入ることが出来て良かったですし、そこで説明を受けて一見ただの雑草に見えても様々な用途がある野草なのだと思いなおしました。

K

虫こぶがつくと、漢方になる物もある。ヨモギを今回ホットケーキや団子に調理して、食

べましたが、予想以上の風味に驚かされました。そして美味しかったです。野草には前々から興味を持っていましたが、実際に食べたのは今回が初めての体験で、この自然観察会に来て良かったと思っています。

L

今回の自然観察会では、普段食べる機会があまりないヨモギを食べる貴重な体験ができてよかったですと思います。今回はヨモギだけでしたが、他の野草も食べてみたくなりました。

M

ヨモギを自分で採取して、ヨモギを見分けることができるようになった。ヨモギは、葉の裏が白くなっていて、揉むと香りが出て良かった。ヨモギの白たまやホットケーキは、食べたけどヨモギの味があまりしなかった。でも、おいしかったので良い経験になりました。次は、新しい野草を食べたいと思いました。

N

今日は、ヨモギを採りに校内の普段は入らない場所に入って自然に接することができ、またそのヨモギを使ったパンケーキもおしく、すごいいい体験ができました。最近自然に触れ合うこともなくなってきたので本当に良かったです。ボランティアの皆さんにも感謝したいと思います。

O

初めて、ボランティア会に参加することになって、とまどう場面があったけど、ビオトープ会の方々などのサポートのおかげで、楽しい活動をすることができて、また、自分で獲った植物を食べることも良い経験になった。今回はヨモギでホットケーキや、団子にして食べたが、味も作り方によって全然違って、他の食べ方で食べてみたいと思った。次は他の植物や、動物にふれ合う機会があるなら、ぜひ参加したい。今回は本当にありがとうございました。

P

ヨモギのホットケーキと白玉団子が美味しかったです。ヨモギにも色々な種類があることを専門家の方から知りました。カラスノエンドウは笛代わりになることを知りました。良い音が出てました。ヨモギの見分け方が少し難しかったです。ヨモギにも極端に大きい、小さいのがあることを知りました。

Q

今日は、ビオトープまで行ってよもぎを採集し、実際に自分達でとったよもぎを調理をす

るという、地産地消のような素晴らしい経験となりました。よもぎ採集中にも先生や先輩方に動植物の知識ももらえて勉強になりました。

R

天気を心配していましたが雨がふらなくてよかったです。今回は、ビオトープ周辺でヨモギを採取しました。それを調理して食べました。ホットケーキ、白玉、私はヨモギは苦手です。つらかったです。

S

春の息吹を肌や味覚を通して、感じる事ができたので良かったです。野草の蓬はなにより新鮮でとてもおいしかったです。キャンプや登山などアウトドア活動をよくする機会があるので、その時にでも少し周りを見渡して野草を探してみようと思いました。ありがとうございました。

T

最初はヨモギがどれか分からなくて困りました。しかし、ていねいに教えていただきヨモギを採ることができました。ヨモギ入りのホットケーキはとてもおいしかったです。自然の中には食べられる野草がたくさんあるということを知ることが出来ました。

U

今日ビオトープに、食べるヨモギを取りに行きましたが、思いの外、足元にたくさん生えていて、本当に身近な植物なのだと実感しました。ヨモギを切っていて手にニオイがついたので香りが強いなと思いました。お団子もパンケーキも美味しかったです。お団子はヨモギの独特の味や香りが強く出ていましたがパンケーキは全然気にならなかったのが植物に合った調理法があるのだろう、と感じました。今日の観察会でより野草を身近に感じる事ができてよかったです。

V

今日、この自然観察会に参加して、本当に楽しく授業ができ、おいしいホットケーキも食べられて幸せです。よもぎが、これほどおいしいとは思ってもよらず、本当によもぎがおいしいと思いました。家でもよもぎの料理をたくさん作ってみんなに自慢したいと思います。

W

今日は、初めて自然観察会に参加しました。自分達でビオトープに足を運び、ヨモギを採取し、自分たちで調理をするということは、とても素晴らしいことだと思いました。お店で買って食べるよりも、自分の手で取って食べるほうが、自然の大切さなどがよく分かる

ような気がします。また、専門家の方々からどの植物がどのように調理して食べられるのかを教えてもらったので、今後、ヨモギやクズなどを食べてみたいです。

X

今日は初めての自然観察会でビオトープに入ってヨモギを摘んだ。ヨモギはなんとなくどのようなものかわかっていたけれど、直接意識して触ることはなかったので貴重な体験ができたと思う。ビオトープにはいろんな植物が生えていて専門家の方がいろんな植物を教えてくださいだったので学んだことも多かった。野草の種類を覚えて、自分で山に行ったときに摘んでみるのもおもしろいと思った。ヨモギは裏側が白くなっているということを初めて知った。今回はホットケーキにして食べた。ほんのすこしたけヨモギの味がしたけど、ミキサーとかつぶしてもっと香りが引き立つようにしたらヨモギの味をより楽しめたと思う。またみんなで料理がしたい。次は野草の天ぷらが食べたい！！

Y

今日はヨモギを使って作ったホットケーキと白玉を食べました。まずみんなでビオトープに行き採取してその茎を取り除く作業をしました。ヨモギは小さい頃から身近にある植物で採取するときは間違えることなくヨモギを採取することができました。茎を取ったものを洗ってそれを混ぜたホットケーキと白玉はとてもヨモギの味がしました。ヨモギは風味がよくて食べやすかったです。このような体験ができてよかったです。他にもタンポポやフジ？カラスノエンドウも食べれると知ったのでまた機会があれば食べてみたいです。ヨモギのサイズが大きかったので売ってあるヨモギまんじゅうとかよりも味がしっかりしていました。「味覚」を使えたかなと思います。ビオトープ研究会の人も進行や準備、片づけありがとうございます。今度の観察会もたのしみです。

Z

ビオトープ内にもっとヨモギがあると思っていただけ意外に少なかったのでびっくりしました。ヨモギが食べられるだけでなく虫よけになるとか今まで知らなかったことも知れて良かったです。ホットケーキにヨモギが合うか不安だったけどおいしかったので、驚きました。これからもビオトープや野草について知っていきたいと思いました。

AA

去年の観察会にも参加したが今回の観察会は去年失敗していた所が改善されていた。今後も来れるかぎり参加しようと考えている。また今回の観察会は去年よりもスムーズに進んでいた所が良かった。このほかにも去年よりも良くなっている部分が多く、参加して良かったと思えた。

AB

今回、自然観察会に初めて参加して、いろいろなことを知ることができました。今日、ビオトープに行って、確認できた生物はアメンボだけでした。次は夏に行ってみたいと思いました。ヨモギが思ったよりも、多く自生していることに驚きました。ヨモギを食べてみて、ヨモギの他の料理の仕方が気になりました。正直、ヨモギ抜きのほうがいいと思いました。

AC

最初にビオトープ付近にヨモギを採取しに行きました。ヨモギ以外にもいろいろな植物を観察することができて、とても勉強になりました。自分達で取ったヨモギを使って、白玉とホットケーキを作りました。ヨモギの味が若干して、おいしかったです。積極的に活動することができたので良かったです。

AD

至る所に生えているヨモギでも調理次第においしい食べ物になることを知りました。よもぎ白玉、よもぎのホットケーキなど自分の知らない食べ物ばかりでした。自分の周りのたくさん野草も、このように調理次第で食材になりえるのかなと思いました。

AE

今回はヨモギの見分け方と調理の方法を学んだ。ヨモギのホットケーキとしらたまを4年連続で食べたが今年が一番おいしかった。卒業論文の資料にもなったし一石二鳥で楽しかったです。

AF

いろいろな野草について知ることができた。ヨモギはいろいろな食べ物で使われているのでホットケーキに入れてもおいしかった。白玉は食べた後にヨモギの苦みがして少し苦手だった。普段できないことができたのでよかった。専門家の方々が説明してくれたので分かりやすかった。

AG

今回参加したのは初めてでしたがビオトープを見学して日頃聞いてはいたけど知らなかったビオトープを見てこれが福工大の創った“環境”というものだと分かった。ビオトープ活動を頑張っている人々の努力が想像できるほどいい体験ができた。野菜を取って食べる。このことを人生で初めて経験した。日頃とは違ったものに触れてよかった。

AH

日頃、食べることがほとんどない野草を食べることができてとても貴重な体験をすることができました。昨年も参加していましたが、昨年とは違うものを食べることができてよかったです。また、専門家の説明で野草にも他にも様々な用途があることもわかったので勉強になりました。

AI

今日の自然観察会は初めて参加して野草や生き物についていろいろ学びました。今まで雑草などいていた草の中にも実は食べられる草がたくさんあることがわかりました。春の食べられる野草はカラスノエンドウやヨモギなどたくさんあり、これらを調理し食べることができたのはとても良いことだと思いました。調理し食べる事ができたのはとてもよいことだと思いました。ヨモギホットケーキとヨモギの白玉の味はとてもヨモギ独特の味が出ていてとても美味しかったです。自分達で取ってまた調理し様々な活用していきたいと思いました。

AJ

今日の自然観察会でたくさんの野草を見て食べられる野草と食べられない野草があつて改めて知識を得ることができました。ヨモギがいろんなところに生えていて驚きました。ヨモギを実際に食べてみてとても美味しかったです。様々な使い道があるなあと思いました。

AK

今日は春の野草を食べてみようというテーマでした。まずビオトープへ行き観察をしました。一番印象に残ったものは野イチゴの実がなっていたことです。あともう少ししたらもっと咲くとのこととても楽しみになりました。またヨモギを収集しました。去年もやったことですがとても楽しかったです。後半は料理をしました。ヨモギのホットケーキはあまりおいしくなかったですが、ヨモギもちも美味しかったです。今後の観察会はとても楽しみになりました。

AL

ビオトープへ来はじめてヨモギ採取をした。そのなかでさまざまな虫や植物がおり自然にあふれているなど感じた。その後教室へ戻り野鳥の会の方からビオトープなどの話を聞いた。日本の在来のタンポポよりも外国のタンポポの方が多くなってきていることに驚いた。ヨモギのホットケーキとヨモギの白玉団子を食べた。どちらもヨモギの風味があり、おいしかった。

AM

あまりヨモギは取りきれなかったけど収集など観察しているときはとても面白かったです。自分は虫が大っ嫌いだったけどなんとかヨモギちょっと取れました！！
ホットケーキと白玉とか美味しかったです。また次回も参加しようかと考えます。夏にも参加したら次は頑張ろうと思います。

AO

今日の自然観察会では、ヨモギを採取し、料理し食べました。ヨモギを採取する時では、葉の色や裏側を見て、採取しました。採取している時に、ヨモギの葉の上に、虫こぶを見つけた事が出来ました。小さい虫たちが、生きるためにいろいろ考えているんだなあと思いました。去年もやったことがあるので、スムーズに採取することが出来ました。ヨモギを食べてみると、独特の香りが広がって、とても美味しかったです。

AP

ヨモギのホットケーキ、ヨモギの苦みを感じる。葉はスジが通っている。

AQ

今回で私は、春の自然観察会は2回目だったのですが、1回目では気付かなかった点にも気付いてよかったです。

AR

自分は白玉作りの班でした。ヨモギの擦り具合が弱くて、白玉の色が完全に緑色にならなかった。

AS

初めて参加しました。身近にあれだけの食べられる植物があると知り、他のものも食べてみたいと思った。

AT

ヨモギを久々に食べて、新芽と葉で香りが結構違うんでビックリしました。クズの芽をバターで炒めたけど、やはり毛だらけで調理方法をもっと考えたいと思いました。

AU

野草を食べたことは何度かあるが、ヨモギをホットケーキに入れると食べやすかったです。ビオ研として、指導しなければならないのに、あまり出来なかったです。時間は早く出来てよかったです。

AV

春の食べられる野草について、深く知ることができた。そして、ヨモギなどを食べて、日本の食文化は、常に自然と共にあり、その恵みに改めて感謝しなければならないと思いました。自分の家でも野草を取り入れた料理を作って自然の味を楽しみたいです。

第33回福工大ビオトープと里山 自然観察会のお知らせ



※福岡工業大学・和白東小学校区ビオトープふれあい実施委員会活動

内容

福工大のビオトープと里山で自然観察や虫取り大会を行います。
ぜひ、夏の虫たちと触れ合ってみましょう！

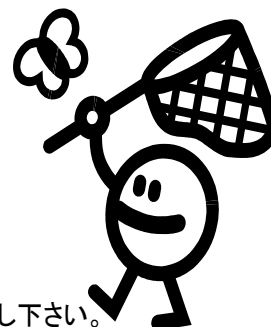
対象

地域の皆様(子供から大人までどなたでもご参加いただけます。)
学生及び大学関係者の皆様

日程・場所

日程：7月5日(土)9:30～12:00
※雨天の場合も行います。

場所：福岡工業大学A棟1階A13教室
(校門から入って一番奥の建物です。)



参加申し込み

事前のお申し込みは必要ございません。
どなたでもご参加いただけますのでお気軽にお越し下さい。

お願い

当日は山に入りますので、服が汚れる恐れがあります。
汚れてもよい服装と運動靴(または長靴)でお越し下さい。
また、ハチが出る可能性があります。黒い服は出来るだけ避けましょう。
当日は気温が高くなることが予想されます。水筒を持参して、こまめに水分を摂取してください。

お問い合わせ

福岡工業大学・社会環境学部
坂井 宏光
Tel.:092-606-6186
Fax.:092-606-6497
E-mail.:sakai@fit.ac.jp



2014年7月5日(土曜)

テーマ 生き物を見つけよう
めあて 夏の生き物を知ろう

活動場所 福岡工業大学 A棟1階A13教室 ビオトープ A棟ホール
時間 9:30~12:00
大学担当者 坂井宏光先生 ビオトープ研究会の学生
参加者 43名
自然案内 田村氏 永松氏 生田氏((有)クラブード)

【活動案内】

9:30~9:45 あいさつ

9:45~9:50 移動

9:50~11:10 A&Bに分かれて観察、昆虫採取(それぞれ30分)

A、9:50~10:25 里山

B、10:25~11:00 ビオトープ

A、10:25~11:00 ビオトープ

B、9:50~10:25 里山

11:10~11:30 まとめ

11:30~12:00 アンケート記入、解散

観察終了後 研究室で反省会。



第 33 回自然観察会 アンケート感想

【一般】

A

約3ヶ月半ぶりに来たけれど、ビオ研メンバーもいいものたちも変わりなくて
なんだか安心できました。

やっぱり福工大のビオトープは最高です!!!

このビオトープには、チョウトンボが普通にふわふわたくさん飛んでいるのが
とてもすごい思います!!今までそれが普通だったから気づかなかったけど

こんなめぐまれた環境にいたんだと改めて思いました。

これからもチョウトンボ、そして、いろいろな生き物たちの魅力を伝えていってください。

【学生】

B

今回は生き物のつなぐバトンを学びました。トンボが3億5000万年前にすでに誕生しており。
羽の大きさだけで80cmあると聞いて驚きました。

あとチョウはそれより遅く2億8000万年前にいたときいて昔のチョウもきつときれいにな
んだろうなあとと思うとワクワクしました。

C

今回の自然観察会は、生き物を見つけようだった。

ビオトープ付近では、オオシオカラトンボ、チョウトンボ、ショウジョウトンボが多く飛
んでいた。カラスアゲハも確認でき、捕まえられたがすぐに逃げられてしまった。森の方
では、あまり昆虫を見ることができなかった。今回の自然観察会はいろいろしらなかった
虫をみることができたので良かった。次回の内容が楽しみです。

D

今日、里山やビオトープにいき、昆虫採集、観察をした。

トンボやチョウ、草などたくさんの種類があり、一日でたくさんの種類を見つけた。

ビンゴゲームみたいなものもした。全部は揃えることが出来なかった。

とても悔しいです。

E

トンボやチョウをはじめとした無視や様々な植物の観察を間近で行うことが出来、有意義
でした。

F

今回は自然観察会で虫取りをした。まずさと山に入り、木の観察をした。

ノブドウは2種見つけてノブドウとキレハノブドウが見つかった。2種類の見分け方は葉の違いだ。葉に切れ目があるからキレハノブドウと言うらしい。また、大学の里山の特徴は、下のほうから幹が別れていることでこれは人が、入っている。証拠ということを知っているほどと思った。ビオトープでは主に虫取りをした。トンボがたくさん飛んでいた。超トンボを捕まえて、観察したところ遠くから見ると青っぽくて、近くから見ると茶や黒っぽいのがきらきらしていたまるでステンドグラスのようだった。羽に色はついているが透明だった。赤いトンボやギンヤンマとかいろいろなトンボがいてビオトープが豊かなことを改めて実感した。ギンヤンマやイトトンボは水辺の植物の茎にタマゴを産むということを知り、ただ水があるという条件がととのえばよいというわけではないんだなあと、環境条件の難しさを感じた。また、水の中を見てみると、トンボが水に沈んでいた。それは産卵に失敗した姿だった。タマゴをうむことも命がけなんだと命の大切を学べる授業だった。

G

今回の自然観察会では生き物をつかまえることもできとても楽しい時間を過ごすことができました。

初めにビオトープで脱皮後のトンボを見ました。羽はまだ白くずっと葉につかまったままでした。羽が白いのは体液であると学びました。トンボは脱皮するときに体液と空気を使い、脱皮後は体液必要ないのでしばらくの間乾かすそうです。

次に里山に入り、入り口付近ではキレハノブドウとノブドウを見つけました。キレハノブドウは（絵）のような形で、ノブドウは（絵）みたいな形で同じノブドウでも違いがあるのがおもしろかったです。里山では、少し上り木が真っ直ぐではなく、再度から枝が生えている木があり、それは人が真ん中の木を切ったことによってできた木だろうで里山の木の特徴だそうです。里山からビオトープに移動する時にころびそうで大変でした。

最後はビオトープに行き、主にトンボの観察を行いました。トンボはいろいろな種類がいてとてもおもしろかったです。また脱皮に失敗してビオトープに沈んでいるおものや沈みかけたものがありました。その死がいを食べている虫も見つけることが出来ました。かわいそうだったけれど、トンボが脱皮を「かわいそう」という感情を抱くのは間違っているのかもしれないと思いました。

H

里山にいろいろな生物がいるということを知った。

また、木が独特な形をしていて、昔、里山に人がいたということが分かった。

昆虫には食べるエサが決まっていること、シジューカラ 1日に 330 匹ものシャクトリムシ

を食べることも知ることが出来た。
次回も参加していろいろなことを知りたい。

I

久しぶりに虫取りをして、虫を間近で観察できたので良かったです。
里山やビオトームにそれぞれ生態系がなりたっていて、このままの自然を残すことが大切だと思った。

J

本日の自然観察会では虫取りをして、トンボも多くの種類がいて、すごいと思った。細い水色のトンボがいてとてもきれいだと思った。他にもバッタや、カマキリ、キリギリスなどがいた。里山は地面が湿っていて、危なかった。葉っぱの緑の色が一部ない葉があり、何かの虫はその葉の葉緑体を食べていることがわかった。最後のまとめで生き物が生きるのは大変だとわかった。

K

今日のビンゴゲームは始めてだったが、楽しくできた。卒業研究の資料として写真も 50 枚ほど撮れたのでとても充実した時間でした。卒業生の方も来ていてとてもなつかしかった。

L

雨が降った後だったので、里山はかなりぬかるんでいて、何度もすべりそうになりました。今回はビンゴゲームということで、9 個の項目に注目して観察していましたが、見つけるのが難しかったです。
今後の観察界も楽しみです。

M

多くのトンボを見ることが出来、トンボやチョウは長い時間、閉じ込めておくと飛べなくなるのが初めて知ることが出来た。
写真も多く撮ったので良いビオトープだった。

N

今回の自然観察会は、珍しくトンボの羽化と産卵を見ることができた。去年は見られない光景だったのでそれだけでも運が良かった。また、今日はビオトープに来ているトンボの種類がとても多かった。しかし、蜂がビオトープにいたのは危ないと思ったが、偶然だがトンボの産卵を写真に取ることができた。

O

数年ぶりに虫あみと虫かごを持って、虫を捕まえに出かけたので、捕らえるのを楽しんでいる間は、幼少の頃を思い出せてよかったです。

他にも、ビンゴゲームを楽しむことにより、それらを見つけるのに必死になれて、見つけられた時の達成感や興奮はなかなか味わえないものだし、初めて見る動植物もあり勉強になりました。

また、自然観察会を通して、野鳥の会の方との交流もあり、とても良い観察会だったと思います。

P

今回は前回と違って、すごくアクティブでたのしかった。

虫とりも何かわからないけど、無我夢中になってトンボをとっていました。とれたのは 0 匹ど、本当にたのしかったです。大振りしすぎてトンボを殺しかけてあぶなかった。

Q

今回は前回とは違って虫とりを行った。

虫とりをしたのは、小学校 6 年生ぶりだったのでなつかしく感じた。魚とりなどもきかいがあったらやってみたい。里山はとてもすべって危なかった。

R

今日の自然観察会では、いつもは見ることできない虫や植物で観察することができたのでいい経験ができたと思った。

S

昆虫採集は中学の 1 年生以来だったので約 10 年振りに昆虫に触れあったので童心に戻った感じになれて今日は楽しい 1 日になりました。

長らく自然や昆虫に触れていなかったら、小さい頃平気に触れたのがこの年になってバッタやクモを目の当たりにすると少し恐れてしまったので複雑な心境でした。

T

「山登りするときには靴を履く」ことのすばらしさを改めて学んだ。貴重な体験をさせていただきました。次回からは必ずくつをはいて観察します。野ブドウはガムシロップの味がしたそうです。

U

ショウジョウトンボやダンゴムシを見れた。捕らえられなかったものの、いい写真が撮れ

たので良かった。裏山ではややスリルがありました。

V

今日はトンボとチョウが多くて雨上がりでみちがぬかるんでいてこけている人もいた。いつも観察しているチョウとトンボのくわしい話を聞いて知識が多くなりました。チョウトンボの数もみるからに増えていて驚きです。

W

今回の自然観察会のテーマは生き物を見つけようで、めあては夏の生き物を知ろうでした。今回の自然観察会ではビンゴゲームのネイチャーゲームを取り入れてほかの人たちもしっかりと虫や鳥の声や声を聞いて真剣に取り組んでいたと思った。しかし、雨が前に打っていて葉っぱがぬれて転んでいる人がいたので道の整備をしたほうが良かったと思った。

第34回福工大ビオトープと里山



自然観察会のお知らせ

主催者

福岡工業大学・和白東小学校区ビオトープふれあい実施委員会

内容

福工大ビオトープや里山の観察を行います。
秋の植物や紅葉など、秋色に染まったビオトープ内を一緒に散策したり、草木染めに挑戦してみませんか？

対象

- ・地域の皆様
(子供から大人までどなたでもご参加いただけます♪)
- ・学生及び大学関係者の皆様

日程・場所

日程: 10月18日(土) 9:30~12:00

※雨天の場合も行います。

場所: 福岡工業大学 A棟 1階 A13教室

(A棟は校門から入って一番奥の建物です)

参加申し込み

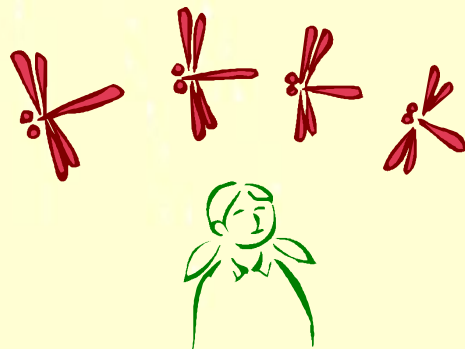
事前のお申し込みは必要ございません。
どなたでもご参加いただけますのでお気軽にお越し下さい。

お願い

当日は山に入りますので、服が汚れる恐れがあります。
汚れてもよい服装と運動靴(または長靴)でお越し下さい。
また、ハチやアブなどが出る危険性がありますので黒い服は避けるようお願いいたします。

お問い合わせ

福岡工業大学・社会環境学部
坂井宏光
Tel. 092-606-6186
Fax. 092-606-6497
E-mail. sakai@fit.ac.jp



2014 年 10 月 18 日（土曜）

テーマ 草木染めを体験しよう！！
めあて 自然の色を楽しもう！！

活動場所 福岡工業大学 A 棟 1 階 A13 教室 ビオトープ A 棟ホール

時間 9:30～12:00

大学担当者 坂井宏光先生 ビオトープ研究会の学生

参加者 37 名

自然案内 田村氏 永松氏 生田氏（(有) クラバード）

【活動案内】

8：30～9：25 研究室集合

9：30～10：00 開会のあいさつ

10：00～11：00 草木染め

11：10～11：50 観察

11：50～12：00 まとめ・解散

観察終了後 研究室で反省会。



平成 26 年 10 月 18 日

自然観察会 34 回 感想書き

【学生】

A

今回の自然観察は草木染めでした。

草木染め自体は、参加された方たちからも好評でしたが染める物自体が今回は少ないように思いました。そのため次回からは、頑張りたい。

B

台風の影響と気候が今年は、二週間ほどはやくクサギの実の量が少なく逆にピラカンサが多く熟して赤紫色のような良い色ができました。

クツフシやピラカンサなど今年初の試みで、ピラカンサ想像以上に色がでて煮ているときも甘いにおいがしていた。里山に入ると食べられるものや、びわでお茶を作るとか本来の里山らしい話をたくさん聞いた。

C

今回は草木染めでしたが、企画段回からいきあたりばったりで、当日に少しばたばたしてしまい、ぐだってしまったので次はもっとスムーズに行くようにしたいです。

ですが、学生がすごく楽しそうに染めていたのでよかったです

クサギ、セイタカワダチソウ、ピラカンサ、意外にもピラカンサがよく染まっていたので驚きました。引き続き来年もピラカンサを使っていきたいです。

D

草木染めという直接に、自然を感じられる活動が出来て大変有意義でした

E

野草での布染めは葉から色を出すというイメージが強かったが実からも色を出せるという事を知った。青や赤、黄色など思っていた以上に色のバリエーションがあり、実際に布を染めるととてもあざやかに発色した。

見た目の色と違う色素が出るものがある。

F

みんなきれいに染められていて良かったです。

G

去年も草木染めをしたのですがやはり臭いがすごかったです。染めている間と干している

間に待ち時間がとても長く感じました。

H

草木染めを行いました。最初にピラカンサで布を染めました。とてもきれいなピンクの色になりました。しかし、次クサギで青に染めよってしましたが、雑布みたいな色になりました。とても残念です。

I

今回草木染めを体験して、自然の草木の色の美しさ、染められる草木種類や色の変化など、いろいろな発見ができ、自然についての新しい知識がえられ楽しかった、専門家の方のお話から、いろいろな種類の草木で染められると分かったので今度機会があれば、草木染めを、ハンカチなどでやってみたいと思った。今回一番驚いていたのは、サクラの枝、葉でもピンクの色がでるというものでした。他にも、見た目からは分からないものがたくさんあると思うので調べてみたいと思います。

J

本日の自然観察会では、1回目に初めて参加した時よりも、興味深く特に草木染めは、思ったより楽しかったし、濃く、色が染まったので嬉しかったです。また、水分の量によって、色の濃さが変わるなどといった普段じゃ分からないことを学ぶ事が出来て良かったです。

K

今回の自然観察会は草木染めでした。草木染めをするのは2回目で1回目は小学生の頃でその時は花を使ってやめました。今回は植物の実などを使って染めました。話を聞いていて染める技術は挑戦から約1700年前に伝わったそうです。科学染料を使って服を染め始めたのはいつからなんだろうと思いました。

L

身近にあるいろんな植物でいろんな色に染められるっていうのはおもしろいなと思った。今日体験しておもしろかった。キレイな色っていうより自然の色っていう感じだった。水色に染められるっていわれたし以外と身近に染める道具はあるだなと思った。

M

今日の草木染めで、布を青く染めました。クサギは鍋の中では、結構青く見えたのですが、

出来上がった布を見ると思いの外の水色でした。くすんだ感じの水色で意外とキレイだな、と思いました。すすきでも染めることが出来るということにも驚きました。何か機会があった際に、黄色や赤色など他の色での草木染めが出来たらいいなど思います。

N

今回の自然観察会ではクツフシ、ピラカンサ、セイタカワダチソウ、クサギの色素を使って草木染めしました。

今回はクサギセイタカワタイソウの二種類の草木染めを体験しました。今日草木染めに使われた草木の他にもサクラやノブドウも草木染めに使えるみたいなので来年挑戦してみてもいいんじゃないかなと思いました。

O

本日の自然観察会でピラカンサを使って草木染めを行いました。ピラカンサの実実は濃い色の赤色だったけれど草木染めをすると濃い赤色ではなく桃色のような色になったのは意外でした。臭いをかいてみるとすっぱいにおいがした。

P

皆さんキチンと草木染が出来てよかったです
進行具合もダラダラしておらず、臨機応変に対応していました。

Q

今年は台風や冷夏の影響で染め物の材料が少なく焦りました。
今年は冬が早く来たのでピラカンサが沢山とれてよかったです。赤やピンクに染まりよかったです。来年もチャレンジしたいと思った。ビオトープにもまだまだ材料はたくさんあるので色々ためしてみたいです。
自然の色は面白いです。

R

今回は、私は初めてで1回目の自然観察会に来られた。全過程の中に、多くの植物を認識しました。いろいろな植物の関係の知識の勉強しました。

実は、私は福工大の生活は一年半ぐらい。でも、まだ学校の周辺環境は全然分からない。この機会は学校の自然と地理環境を理解し、学校の裏の神秘的な領域を見ることができました。観察会の途中でまちまちの花や木を見た。花や木の分からない名前は坂井先生に聞きました。坂井先生は知識量が豊富な先生です。すべての環境知識を享受した。私は感謝した。

それで、来年も自然観察会があるよね。私も参加する。

S

草木染めを体験し、たのしくさせてもらった。
下準備に牛乳用いることや、液を使うことで色が変わるなど勉強になった
自然観察には、実際に木の実を食べてみることで味や食管などを感じることが出来てよかった。

T

今日は草木染めを体験しました。
色んな色を使って布を染めることが出来ました。
しっかり色をしみこませることができました。

U

今回の自然観察会では草木染めを体験しました。
去年も草木染めをしていたので今回は上手く作ろうと思っていました。
でも、去年よりも上手く作れなかったのが残念だった。
草木染めで使われた植物は、クツフシ、ピラカンサ、セイタカワダチソウ、クサギなどを使っていることを知った。また、ヌルデの虫こぶと言われる植物は、お歯黒にも使われていることも知った。
今後、草木染めをするときは、今回よりも上手く作りたい。

V

今日楽しかった。日本のいろんな植物を調べて自然の恵みに感心した。
布を染めるのははじめてです。いい体験だと思う。植物についていろんな知識を勉強した。きれいな景色を見られたとても楽しかった。きかいがあれば、ぜひ行きます。

W

今回の自然観察の面白い体験だと思います。自然はやはり神秘的なものとしみじみ感じました。観察すればするほどきれいなものいっぱい発見しました。見るだけはそれらの植物の形、色がわかるようになるから、そしてそれらの植物のもっと多くの情報のもっと多くの情報を知りたくなりました。先生と専門家からいろいろな説明をもらって、とてもうれしかった。

X

草木染めは去年も体験しましたが、去年よりも質の高い模様をつくることができ楽しかった。また、色をつけた木の実や葉っぱを観察して、自然の材料で色をつけることを考えた昔の人はすごいと思った。

Y

今日、草木染めをしました。初めての体験でしたが、楽しく染めることが出来ました。色んな種類の草木でたくさん色があったのでこれだったら何枚も楽しめるなと思いました。このように簡単に布を染めることが出来るんだなと驚きました。

Z

季節によって様々な活動をしていて毎回たのしいです。

今回の草木染めは貴重な体験だと思います。

青でも染めたかったけどなくなっていたので今度は違う色でも染めてみたいです。

草木でしかだせない色味でとてもきれいだと思います。

観察会では今回の3色意外に染められる草木を教えてもらいました。

知っているものから初めて聞くものまで様々で楽しかったです。

サクラの木は落ち葉でも木でも葉っぱを食べた虫のうんちでも染めることができると聞いてとても驚きました。クズやヨモギ自然に害なく染めたるのもっとたくさん採取して緑色にも染めたいです。

昔から草木染めが存在していて歴史もあり、色んな模様もつけられるのでまたやりたいです。

AA

布を染めるということをするのが初めてだったので貴重な体験をすることが出来ました。染める植物は少し臭くて独特な臭いをしていました。人工的な鮮やかではなく自然のあたたかみのある色に染まっていていい色だと思いました。色がはっきりしている実からではなく、葉や幹でもあんなに色がでることには驚きました。山芋の実を食べさせてもらったんですが、実もねばねばしていて香ばしい味がして良いつまみになるだろうなと思いました。夏のおおあおとした葉、秋の茶の葉など季節によって染まる色が違うときいて植物はなんでもできるなと感じました。環境に優しいもので染める。特にたくさんはえているもので染まることは地球のためにもなって、私たちも楽しめるので良いことだと思います。

AB

今日の草木染めは今までの草木染めを越えるにおいでした。輪ゴムで白くするには初めてチャレンジしてみましたが、染めた色が黄色だったので分かりづらかったのですが、うまくいったのでよかったです。

AC

草木染めをして、植物によって黄色やピンク、青色に変わってとてもきれいでした。専門

家の人たちは草木染めでバンダナを作っていてレンコンのハンコで色をつけたりしてとてもきれいでした。普段できない草木染めを体験してよかったと思う。

AD

今日は草木（クサギ）を使って、草木染めをするという貴重な体験をすることができた。今回は、クツフシ、ピンカラサ、セイタカアワダチソウ、クサギと4種類の中から選べたが、私は青（水）色が好きなのでクサギの色素が出た汁に布をつけて染めた。それぞれ煮ている時には、少しくさいにおいがあったがどれも鮮やかな色の汁が出来ていた。汁につけた瞬間に色がついていくのが面白く、模様を作っている人もいて、とても楽しい体験だったのでまたやりたいと思い次回行く時は別の草木で染めたい。

AE

クサギを利用した草木染めをしました。
観察会では草木染めにつかえる草木実を専門家の人達に説明してもらいました。
山芋の実を食べました。オクラでした。

AF

今日の自然観察会では、草木染めを体験しました。
染める時に意思を入れゴムで結び染めることで、輪っかを作りました。
キレイに染めることが出来たので良かったです。
草木染めという貴重な体験が出来体良かったです。
植物には、色素が含まれていて、だいたい植物で布を染めることが出来るということがわかりました。少々外は暑かったですが、普通ではあまり体験できないことだと思うので良かったです。

AG

今回の自然観察会では、
いつもの自然観察よりも今回は充実していました。鳥の鳴き声や、風の音色も聞くことができ、草木染めをしながら鳴き声も聞くことができ一石二鳥とは、このことです。秋ですが、暑いので体に気をつけましょう。
今回の自然観察会はとても勉強になりました。
ありがとうございました。

AH

草木染めは幼稚園の年長以来久しぶりにやれたのがよかった
木の実を茹でて色素を出すのは知りませんでした、木の実の説明が聞いてよかった。

第35回福工大ビオトープと里山 自然観察会のお知らせ



主催者

福岡工業大学
和白東小学校区ビオトープふれあい実施委員会活動

内容

福工大ビオトープや里山の自然観察をします。
ビオトープや里山にある植物のツルを使って
かご作りを楽しみましょう。

対象

地域の皆様(子供から大人までどなたでもご参加いただけます)
学生及び大学関係者の皆様

日程・場所

日程: 12月13日(土) 9:30~12:00
※雨天の場合も行います。

場所: 福岡工業大学A棟1階A13教室
(校門から入って一番奥の建物)



参加申し込み

参加費無料
事前のお申し込みは必要ございません。
どなたでもご参加いただけますのでお気軽にお越し下さい。

お願い

当日は山に入りますので、服が汚れる恐れがあります。
汚れてもよい服装と運動靴(または長靴)でお越し下さい。
ハチが出る可能性があります。黒い服は出来るだけ避けましょう。

お問い合わせ

福岡工業大学・社会環境学部
坂井 宏光
Tel.: 092-606-6186
Fax.: 092-606-6497
E-mail.: sakai@fit.ac.jp



2014年12月13日(土曜)

テーマ 昔ながらの文化を体験しよう
めあて クズカゴを編んでみよう

活動場所 福岡工業大学 A棟1階A13教室 ビオトープ A棟ホール
時間 9:30~12:00
大学担当者 坂井宏光先生 ビオトープ研究会の学生
参加者 33名
自然案内 田村氏 永松氏 生田氏 ((有) クラバード)

【活動案内】

8:30 ビオ研メンバー集合
9:30~9:45 会長挨拶、説明
9:45~9:50 移動
9:50~10:30 クズ採集
A 9:50~10:00 採集
B 10:10~10:30 採集
10:30~11:40 クズカゴ作り
11:40~12:00 アンケート書き、まとめ、会長挨拶
12:00 終了予定
観察終了後 研究室で反省会。



第 35 回自然観察会 アンケート

【一般】

A

ずっと来たかったのですが、やっとすることが出来ました。

クズ採取からできたのがよかったです。

初めて作ったので、かたむいたカゴになりましたが、最後は、力がなくなりましたが、何とか出来上がりました。帰ったら、多肉植物を入れて飾りたいと思います。ありがとうございました。

【学生】

B

くずかごを作るのは中々難しく、いつのまにかワケの分からないモニュメントを作っていたりしてました。

昔の人々はたとえ手先が器用でも不器用でも一生懸命に作っていたことを改めて知りました。

C

今日の自然観察会で初めてくずカゴを編んでみて全然思い通りにいかず、こんなにも難しいんだと思いました、昔の人はこれを当たり前の日常として行っていたことは想像していたけど、実際にやってみるとイメージと全然違うくて驚きました。

D

今回の自然観察会では初めてカゴを編みました。理屈では理解できるんですが実際にやってみると思うように出来なくて僕のカゴは最終的に鍋敷きになってしまいました。実用性皆無なので今回はお持ち帰りは遠慮させてもらいますが、来年こそはきれいな鍋敷きを使ってお持ち帰ろうと思います。

E

今回の自然観察会のテーマは、昔ならの伝統文化を体験しようでめあては、くずかごを編んでみようでした。自分としては、2回目のくずかご編みでしたが1年たっていたのですっかり忘れておりとても難しかったです。自分は環境演習は、1，2共にとっているので単位としてはもうとれませんが自然観察会はまた参加したいです。

F

カゴを作ったのは2回目だったんですがやっぱり難しかったです。クズの長さや太さによ

って、出来栄えが違ったりさまざまな作り方があったのが面白かったです。
今回で最後ということで一年間さまざまなことをしてかなり、自然とかかわることができ
なと思います。楽しく授業を受けることが出来ました。

G

去年に続いて2回目のクズカゴ編みでしたが、上手くカゴの形にならなくて、自分の不器
用さをおもいらされました。来年もあるならリベンジしたいと思います。

H

今回の自然観察会では、クズカゴを編みました。
司会の方がおっしゃっておられたクズは、ビオトープに生えている植物で自然観察会でも
毎回使われている植物で自分も一番よくビオトープで見ます。
一年間、環境基礎演習をうけてとてもたのしかったです。来年もできれば履修したいです。

I

今日は、クズを使ってカゴ作りをしました。
クズを組み合わせて作って行く作業は一見簡易そうにみえて難しかったです。また来年も
自然観察会に参加したいと思います。

J

久しぶりにくずかごを製作したんですがかごにすき間がおおくできてしまっとうまくでき
ませんでした。もうちょっとうまくできたかなと思いました。
くずを採取する時に枝に絡みついている長いクズを見つけて取るのに苦労しました。

K

クズの採取から、クズカゴを編む作業まで試みて、難しかったけど楽しかったです。以
外にクズを採取するのに力がいり大変でした。
クズカゴ編みは、上下という単純な作業でしたが交互にあみわすれたり、クズが足りなく
なったりと難しくあまりキレイなクズカゴはできませんでしたが、一応最後までいけたの
で良かったです。
今回の授業でクズの使い道、カゴ作りの大変さ楽しさなどを知ることが出来たので良かつ
たです。

L

今回の自然観察会では、クズを採取しました。クズは長いものだと2mや3mもあるので
すごく長いと思いました。クズカゴ作りでは、最初は作り方がわからずできなかったけど

やっていくうちに形になっていったのでよかったです。途中まで作ったのですがクズが切れてばらばらになってしまって残念でした。カゴとかも作っている人がいてすごいと思いました。

M

2回目のくずカゴ作りでした。

私は今日は、リースを作りました！ビオトープにある松ぼっくりやノグルミを使って飾りつけをしました。クリスマスにむけてもう少し飾りを増やしたいです。

N

クズを採取してカゴを作った。クズは思っていた以上に長く曲がりやすかった。だからかごには、とても使いやすい木材だなと思っていたけれど思った以上にカゴ作りは難しかった。最初の土台を、しっかり作ることが大切で結構力が必要で大変だった。私はカゴをつくるつもりだったけれど、枠の木を曲げるのがヘタクソでだったのでお皿のようになってしまった。気がついたら夢中になっていて、自分でとったのもで何かをつくるのはこんなに楽しいことなんぞと思った。このようなに充実した気持ちで今年最後の自然観察会がしめくくれてよかった。

O

今日は初めてカゴを手作りしました。編み方はマスターしたけど最初立てるのがとても難しく、1つ目は大皿になってしまいました。2つ目は専門家の方に序盤のところを作ってもらったおかげで目標のカゴを作ることが出来ました。これから植物入れたりして使っていきたいと思います。専門家の方々はとても上手で、留学生の方もとても上手でした。また来年も楽しみです。たくさん専門家の方と話せてたのしかったです。

P

寒かったけど意外と楽しかった。でも難しくて途中で挫折してしまったのが残念だった。自然の植物から物をつくるって大変だなというふうに感じました。途中であきらめたのが残念だったけど楽しかったので良かったです。めったにくずでカゴを作ったりできないのでとってもいい経験になりました。

Q

初めてのクズカゴ作りでしたが、自分は不気用ではありましたが、1個完成出来ました。また、1つの“モノ”（クズカゴ）を完成したのは、集中という点で改めて学びました。ありがとうございました。

R

今年度最後の環境基礎演習で2回目のクズカゴ作りは、リース？を作りました。今年は例年より寒く買った生で参加者が少なく残念でした。

来年はもう少し内容を楽しく興味を持てるようなことができればいいなと思い来年の目標にしたいと思います。

S

去年のクズを使って身近なものを作るというのにも参加したので2回目です。今年は前年に比べて寒く作業が思うように進みませんでした。それでも今回の自然観察会に参加できて良かったです。